



水平線

めあて

『水平線』に描かれた情景を想像し、音読しよう。

☆教科書10・11ページを開きましょう。

☆くり返されている表現がいくつかあります。その表現を書き出しましょう。

水平線がある

一直線にある

はつきりとある

どこまでもある

☆「……ある」のように、くり返されている言葉の響きに気を付けて、情景が伝わるように、音読しましょう。

ふりかえり

情景が伝わるように音読することができたかを◎○△で自己評価し、その理由を書きましょう。

自己評価

理由

例◎

例 「水平線がある」というところを強調して、力強くはつきりとした感じで読むことができたから。

うぐいす

めあて

『うぐいす』に描かれた情景を想像し、音読しよう。

☆ 教科書12ページを見て、『うぐいす』を書き写しましょう。

☆ 『うぐいす』に描かれた情景や作者の気持ちや作者の気持ちが伝わるような読み方を考えて、書き写した詩に音読記号を書き入れ、音読しましょう。

正しく書き写し、

読み方を工夫して、

音読記号を書き入れていけばよい。

〈音読記号〉

大きく…

小さく…

ゆっくり…

速く…

間をとる…

長く間をとる…

ふりかえり

情景が伝わるように音読することができたかを◎○△で自己評価し、その理由を書きましよう。

自己評価

理由 例

最後の二行のところに注目して、間をとり、声の大きさを弱くして、しんとした感じを表すことができたから。

例◎

いつか、大切なところ

めあて

『いつか、大切なところ』を音読し、感想を書こう。

☆ 『いつか、大切なところ』を音読しましょう。

漢字の読み方が分からなかったり、意味が分からなかったりしたときには調べ、正しく読めるようにしましょう。

音読できたら、下の□に○を書きましょう。



☆ 『いつか、大切なところ』を読んで、好きなところや、心に残ったところ、疑問に思ったところなど、感想を書きましょう。

例 亮太が前のように一平や駿と過ごせると思ったのに、森田

君の存在によって、逆に悲しい気持ちになってしまったところ

ろがせつなくなかった。特に、帰りの電車の中で、なみだがこ

みあげてきたのをこらえていた場面を読み、どんなにつらかつ

ただろうと思うと同時に、亮太の意地のようなものを感じた。

でも、亮太は、そんなつらい思いから立ち直り、「今度の学

校も悪くない」と、思えるようになった。「一筋の飛行機雲が、

まっすぐにのびていた」という最後の終わり方がとても好き

だと思った。



いつか、大切なところ

めあて

物語の全体像をとらえよう。

☆ 「p 28 1 たしかめよう」を読んで答えましょう。

(1) 登場人物と中心人物を書き出しましょう。

中心人物

亮太

中心人物以外の登場人物

一平

駿

森田君

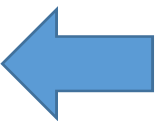
女の子

(2) 亮太は、はじめと終わりの場面で、何がどのように変わりましたか。

はじめの場面

例 永遠に、前の町が自分の町だと決めていた。

終わりの場面



例 いつか新しい町を自分の町だと、迷わず言う日が来るかもしれないと思えるようになった。